

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2010年第28週  
(7月12日～7月18日)

- \* 2010年7月21日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2010年6月)も掲載しています。

平成22(2010)年7月22日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

# 全数把握対象疾患 報告数 2010年28週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				全国(診断週)		
		25週	26週	27週	28週	年累計	28週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	86	66	87	43	2208	291	13163
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					1		4
	細菌性赤痢	1	1	4		39		93
	腸管出血性大腸菌感染症	12	9	12	21	120	123	1438
	腸チフス	1		1		4		16
	パラチフス		1			3		14
四類	E型肝炎					6		37
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1		33	3	268
	エキノコックス症							5
	黄熱							
	オウム病						1	6
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					5	2	108
	デング熱	2	2		2	21	4	67
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	1	27
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア		2	1	1	13	2	33
野兔病								
ライム病					1		5	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		2	
レジオネラ症	2	1	1		18	11	319	
レプトスピラ症					2		5	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		25週	26週	27週	28週	年累計	28週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	1	4	2	88	11	431
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		1	1		24	3	108
	急性脳炎 *2	2	2			12	2	136
	クリプトスポリジウム症		1			2		9
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			10		82
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1		1	12	3	71
	後天性免疫不全症候群	11	10	14	7	259	12	779
	ジアルジア症					8	1	46
	髄膜炎菌性髄膜炎							4
	先天性風しん症候群							
	梅毒	2	5	2	6	90	12	323
	破傷風					2	2	53
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			9	2	56
風しん					10	2	58	
麻しん	2	3	6	1	52	14	314	
新型※	新型インフルエンザ *3	—	—	—	—	—	—	
2010/7/21集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※ 新型インフルエンザ等感染症

\*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 43件** 肺結核24件、その他の結核17件、肺結核及びその他の結核2件で、推定感染地は国内42件、中国1件、年齢は10歳代1件、20歳代7件、30歳代6件、40歳代5件、50歳代7件、60歳代5件、70歳代4件、80歳代7件、90歳以上1件であった。

#### 〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 21件** 患者11件、無症状病原体保有者10件。血清型・毒素型はO157(VT1)1件、O157(VT2)5件、O157(VT1VT2)7件、O157(毒素型不明)3件、O26(VT1)4件、O103(毒素型不明)1件で、そのうちO157(VT1VT2)2件及びO157(VT2)2件はそれぞれ同居家族である。年齢は10歳未満2件(うち5歳未満1件)、10歳代3件、20歳代7件、30歳代3件、40歳代4件、50歳代1件、60歳代1件であった。

#### 〈四類感染症〉

**デング熱 2件** 2件中1件は血清型の報告があり、1型であった。推定感染地はどちらもインドネシアである。

**マラリア 1件** 卵形マラリアで、推定感染地はカメルーンであった。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 2件** どちらも腸管アメーバ症。推定感染地は国内1件、インドネシア1件で、推定感染経路は飲食物による経口感染1件、その他(不明)1件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** A群で、創部から菌が分離・同定されている。推定感染経路は創傷感染である。

**後天性免疫不全症候群 7件** 無症候キャリア5件、AIDS1件、その他1件。無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代1件、30歳代1件、40歳代3件、60歳代1件、AIDS患者の年齢は40歳代1件である。全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間4件、異性間1件、両性間2件)であった。

**梅毒 6件** 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、晩期顕症梅毒1件、無症候2件で、そのうち晩期顕症梅毒1件はHIVとの複合感染である。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触5件(同性間3件、異性間2件)、性的接触及び輸血1件であった。

**麻しん 1件** 麻しん(臨床診断例)で、年齢は5歳未満、麻しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

※第27週該当分として、三類 腸チフス 1件(患者、20代、ネパール)、五類 後天性免疫不全症候群 2件(どちらも無症候キャリア)の追加報告があった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2010年28週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		25週	26週	27週	28週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	9	14	10	0	0.00	147	150
	咽頭結膜熱	41	56	53	46	0.31		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	270	201	176	145	0.99		
	感染性胃腸炎	706	643	587	527	3.59		
	水痘	237	217	173	170	1.16		
	手足口病	276	340	584	690	4.69		
	伝染性紅斑	88	75	94	65	0.44		
	突発性発しん	110	114	96	103	0.70		
	百日咳	39	19	17	16	0.11		
	ヘルパンギーナ	602	875	1,325	1,398	9.51		
	流行性耳下腺炎	167	134	170	153	1.04		
	不明発しん症(注1)	24	26	22	14	0.10		
MCLS(川崎病)(注1)	1	0	4	2	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	7	6	18	14	0.05	283	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	4	1	1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	16	13	15	14	0.37		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	2	1	0	0	0.00	24	25
	無菌性髄膜炎	1	0	0	2	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	8	7	5	3	0.13		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	1	0	0	0.00		

2010/7/21集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・手足口病の定点当たり報告数は増加し、警報の基準となる5人/定点を超えた保健所の管内人口の合計が、東京都全体の30%を超えた。
- ・百日咳の定点当たり報告数は微減した。しかし過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。現在も警報状態が続いており、注意が必要である。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。しかし過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。

### (定点医療機関からのコメント)

島しょ保健所管内定点医療機関

- ・流行性耳下腺炎:小学校(1施設)。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎および突発性発しん:保育園(1施設)。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年28週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月				7	5	3		2		8
～11か月		2		36	11	44	2	46		85
1歳		11	3	61	25	159	3	47	1	292
2歳		7	7	50	27	113	5	4	2	239
3歳		8	14	49	41	114	11	2		219
4歳		5	25	50	25	81	8	1		221
5歳		5	20	38	17	73	11			148
6歳		5	12	36	8	41	6		1	83
7歳		2	18	24	1	21	7		2	43
8歳			10	41	4	16	4		1	23
9歳			11	21		8	4	1		13
10～14歳			14	57	3	8	3		2	13
15～19歳				9		2				1
20～29歳		1	11	48	3	7	1		7	10
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計		46	145	527	170	690	65	103	16	1398
先週比	-10	-7	-31	-60	-3	106	-29	7	-1	73

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月						
～11か月		1		1		1
1歳	4	4				
2歳	11	3				
3歳	21	2	1			
4歳	32	1		2		
5歳	24		1			
6歳	14	1				
7歳	14					
8歳	17	1				
9歳	7			1		
10～14歳	7	1		1		
15～19歳				1		
20～29歳	2			3	1	
30～39歳				2		7
40～49歳				2		6
50～59歳				1		
60～69歳						
70～79歳						
80歳以上						
合計	153	14	2	14	1	14
先週比	-17	-8	-2	-4		-1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年28週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		1
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	0	1

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年28週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				1	1	6		1		15
中央区			1		1	5	2	3		12
みなと		1		15	4	28	1	4	2	25
新宿区		1	3	16	9	9	4	1		28
文京			2	4	1	1		2		5
台東			1	23	6	1	1	3		17
墨田区		1	2	3	4	1		3		9
江東区			4	34	11	40	1	5	1	46
品川区		3	6	29	4	29	1	2		45
目黒区		1	1	4		8	3			12
大田区		6	5	52	6	43	1	6		106
世田谷			5	30	10	19		5		76
渋谷区		7	2	3	1	4	5	1	1	23
中野区			7	29	4	50	2	3		46
杉並			10	32	5	71	1	3	4	33
池袋		1		7	1	3	1	4		19
北区			1	6	4	6	6	3		55
荒川区		6	2	16	1	6	2	1		28
板橋区		1		10	3	11	6	1		10
練馬区		2	4	9	5	29		1	1	58
足立		2	31	17	1	11	5	2		70
葛飾区		1	2	12	11	30	4	2		56
江戸川		3	5	18	12	33	1	10	5	136
八王子市			15	46	13	52	6	3		50
西多摩		6		12	1	7	1	3	2	41
南多摩		2	1	11	13	29		5		36
町田		1	14	41	14	63	2	10		106
多摩立川				11	5	6	1	2		24
多摩府中			10	11	8	35	6	6		100
多摩小平		1	10	25	11	54	2	6		111
島しょ			1					2		
東京都合計	-	46	145	527	170	690	65	103	16	1,398

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年28週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区	1					1
みなと	14					
新宿区	7					
文京	1					2
台東				2		
墨田区	1	1				
江東区	2	1				
品川区	2					
目黒区						1
大田区	5					
世田谷	9	1		2		
渋谷区	1			2		
中野区	1			3		2
杉並	3					
池袋	3					
北区	1	1				
荒川区		2				
板橋区						1
練馬区	2					2
足立	2	1				1
葛飾区	9			1		
江戸川	8					1
八王子市	5	3		1		2
西多摩	8		1			
南多摩	8					
町田	21	1		3		
多摩立川	4		1			
多摩府中	13					
多摩小平	20	3			1	1
島しょ	2					

東京都合計	153	14	2	14	1	14
-------	-----	----	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		1
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	0	1
-------	---	---

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年28週

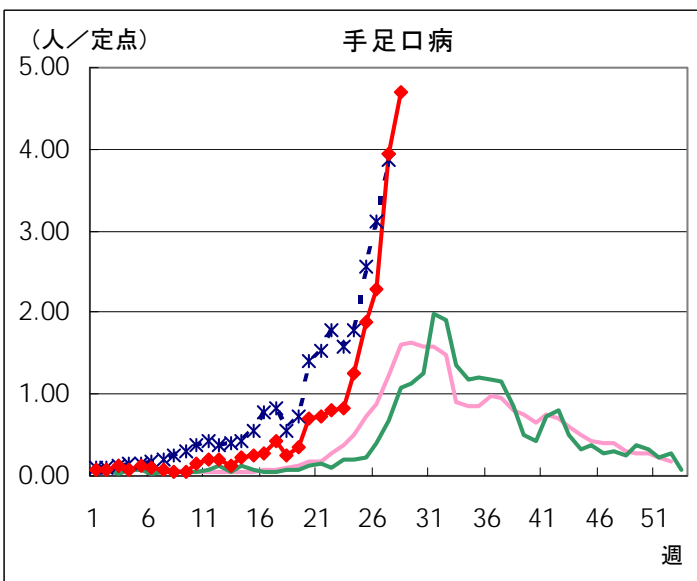
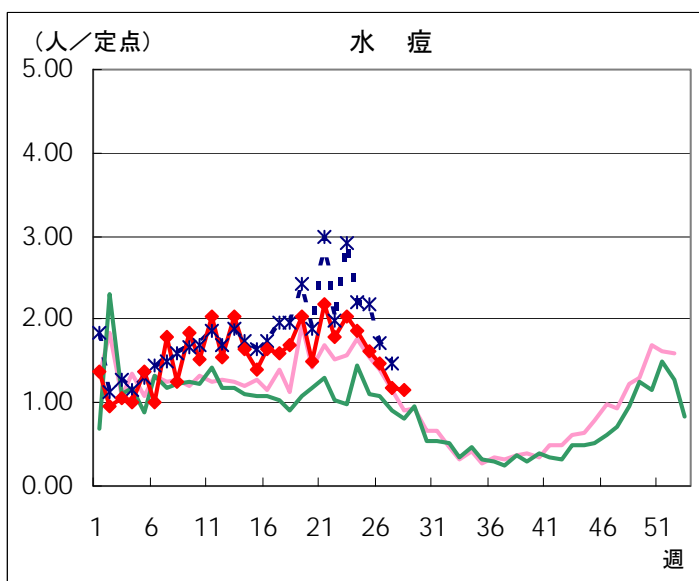
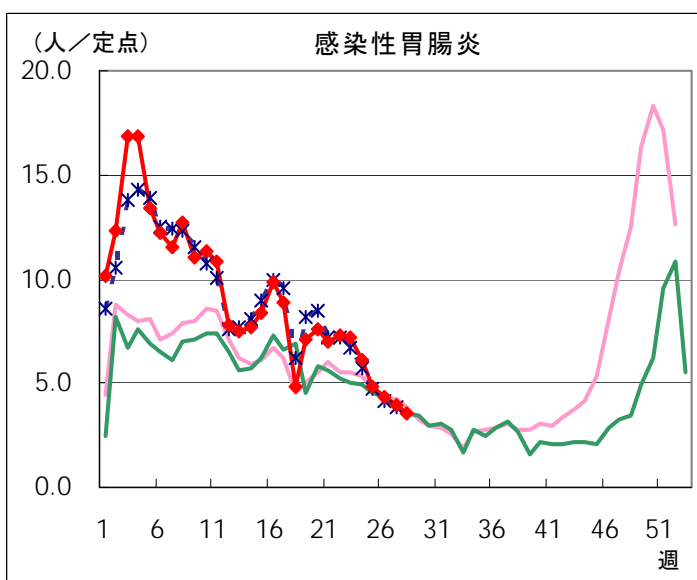
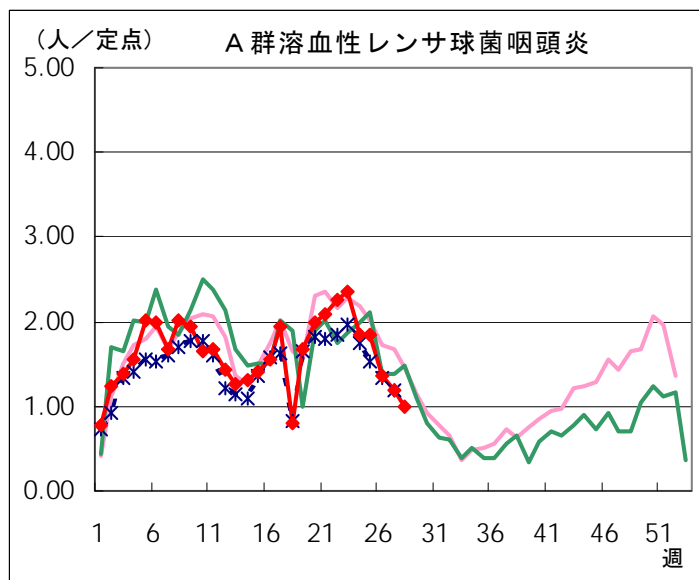
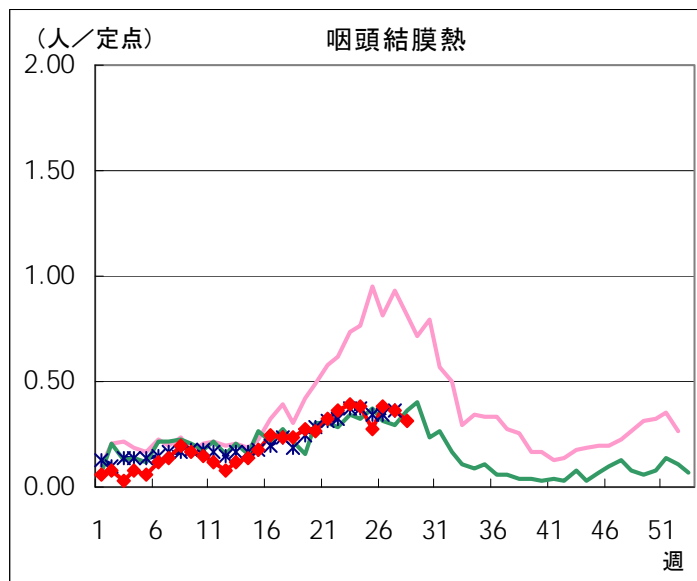
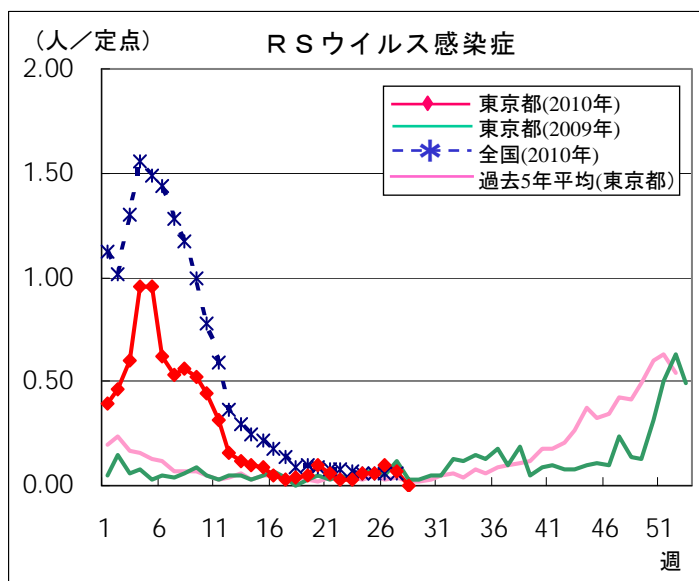
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				0.33	0.33	2.00		0.33		5.00
中央区			0.33		0.33	1.67	0.67	1.00		4.00
みなと		0.20		3.00	0.80	5.60	0.20	0.80	0.40	5.00
新宿区		0.17	0.50	2.67	1.50	1.50	0.67	0.17		4.67
文京			0.67	1.33	0.33	0.33		0.67		1.67
台東			0.33	7.67	2.00	0.33	0.33	1.00		5.67
墨田区		0.33	0.67	1.00	1.33	0.33		1.00		3.00
江東区			1.00	8.50	2.75	10.00	0.25	1.25	0.25	11.50
品川区		0.50	1.00	4.83	0.67	4.83	0.17	0.33		7.50
目黒区		0.33	0.33	1.33		2.67	1.00			4.00
大田区		0.67	0.56	5.78	0.67	4.78	0.11	0.67		11.78
世田谷			0.63	3.75	1.25	2.38		0.63		9.50
渋谷区		1.75	0.50	0.75	0.25	1.00	1.25	0.25	0.25	5.75
中野区			1.17	4.83	0.67	8.33	0.33	0.50		7.67
杉並			1.67	5.33	0.83	11.83	0.17	0.50	0.67	5.50
池袋		0.20		1.40	0.20	0.60	0.20	0.80		3.80
北区			0.25	1.50	1.00	1.50	1.50	0.75		13.75
荒川区		3.00	1.00	8.00	0.50	3.00	1.00	0.50		14.00
板橋区		0.17		1.67	0.50	1.83	1.00	0.17		1.67
練馬区		0.40	0.80	1.80	1.00	5.80		0.20	0.20	11.60
足立		0.40	6.20	3.40	0.20	2.20	1.00	0.40		14.00
葛飾区		0.25	0.50	3.00	2.75	7.50	1.00	0.50		14.00
江戸川		0.60	1.00	3.60	2.40	6.60	0.20	2.00	1.00	27.20
八王子市			3.75	11.50	3.25	13.00	1.50	0.75		12.50
西多摩		1.20		2.40	0.20	1.40	0.20	0.60	0.40	8.20
南多摩		0.50	0.25	2.75	3.25	7.25		1.25		9.00
町田		0.25	3.50	10.25	3.50	15.75	0.50	2.50		26.50
多摩立川				1.83	0.83	1.00	0.17	0.33		4.00
多摩府中			1.11	1.22	0.89	3.89	0.67	0.67		11.11
多摩小平		0.17	1.67	4.17	1.83	9.00	0.33	1.00		18.50
島しょ			1.00					2.00		
東京都	-	0.31	0.99	3.59	1.16	4.69	0.44	0.70	0.11	9.51

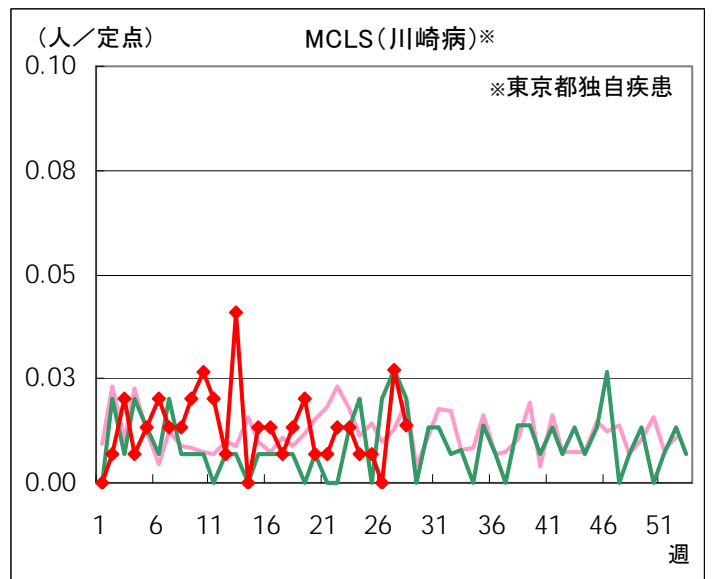
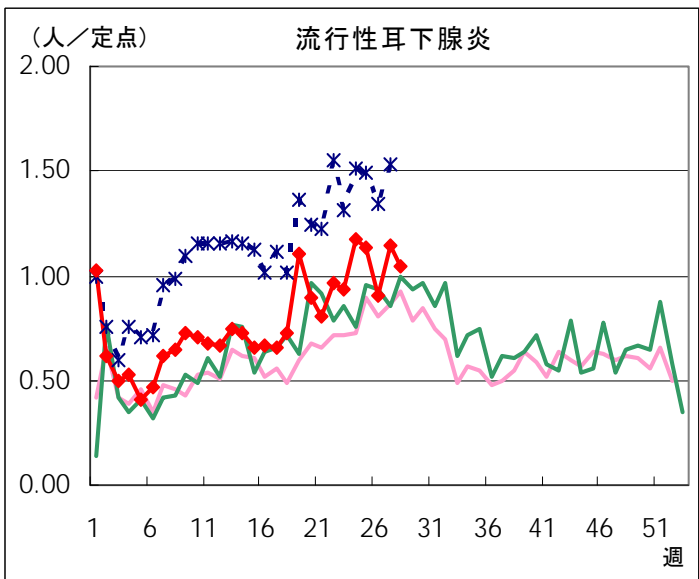
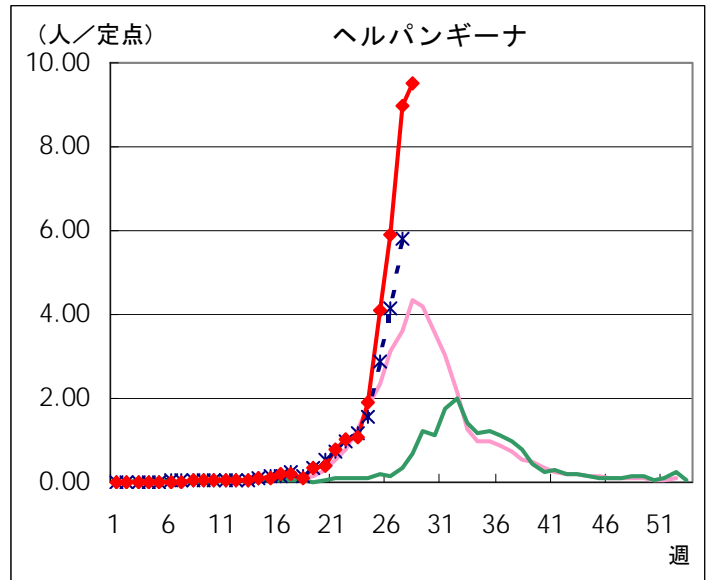
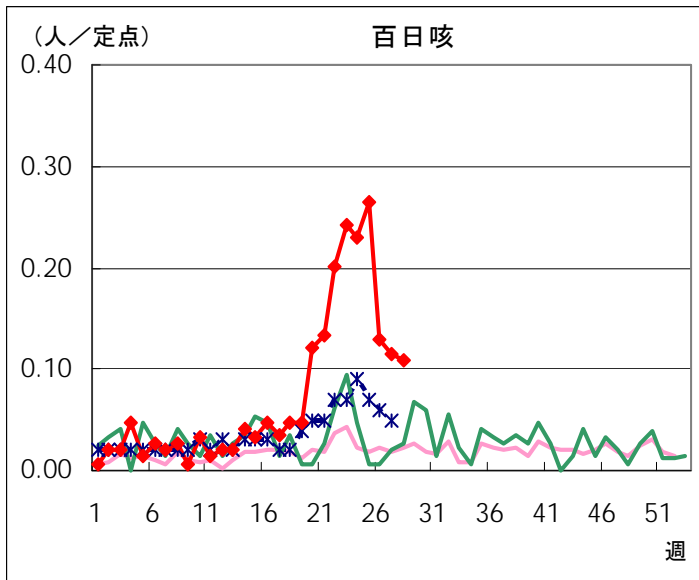
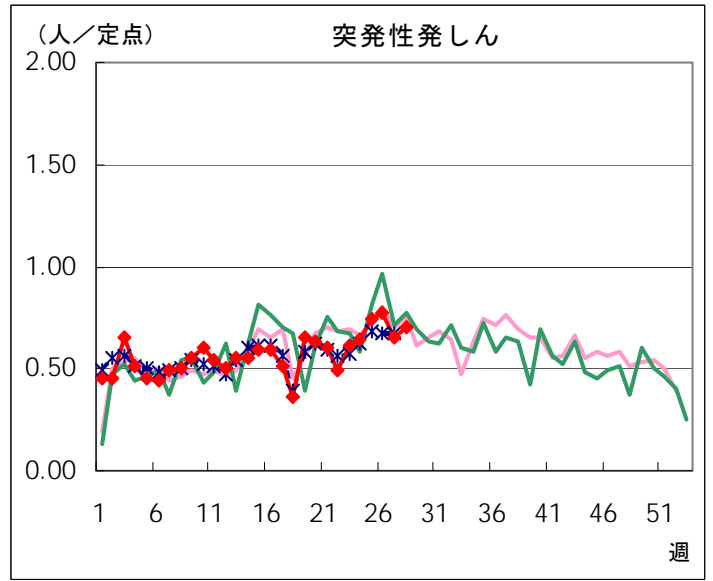
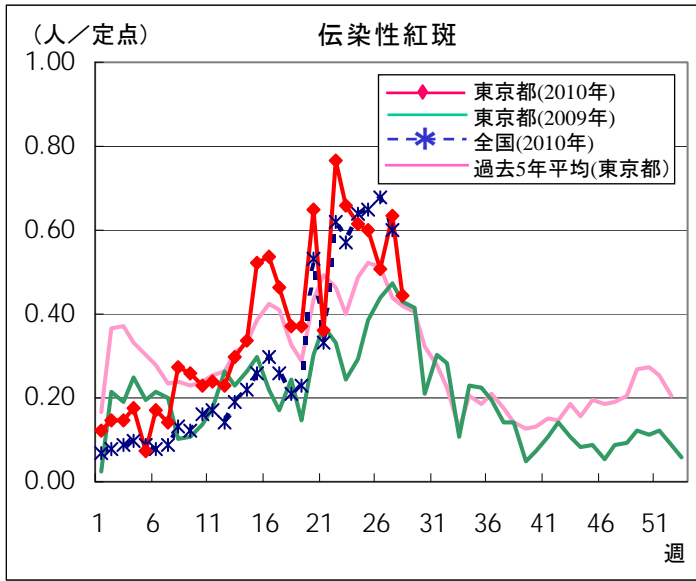


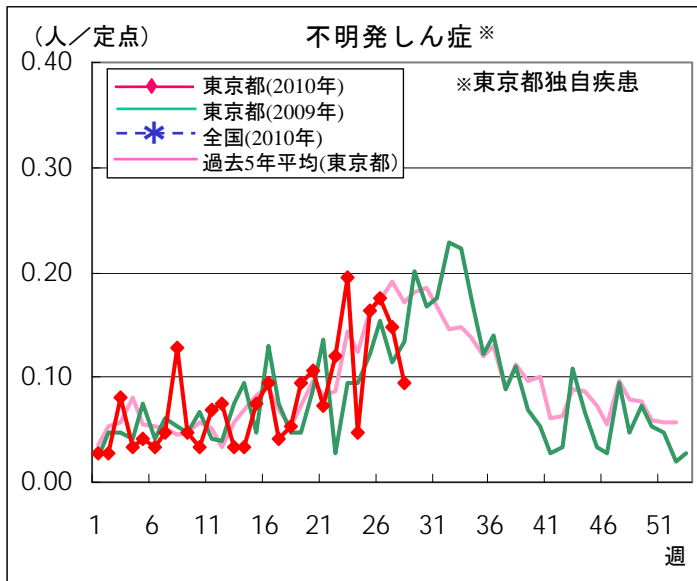
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区	0.33					1.00
みなと	2.80					
新宿区	1.17					
文京	0.33					2.00
台東				0.40		
墨田区	0.33	0.33				
江東区	0.50	0.25				
品川区	0.33					
目黒区						1.00
大田区	0.56					
世田谷	1.13	0.13		0.13		
渋谷区	0.25			0.40		
中野区	0.17			0.33		2.00
杉並	0.50					
池袋	0.60					
北区	0.25	0.25				
荒川区		1.00				
板橋区						0.50
練馬区	0.40					1.00
足立	0.40	0.20				0.50
葛飾区	2.25			0.11		
江戸川	1.60					0.50
八王子市	1.25	0.75		0.10		1.00
西多摩	1.60		0.20			
南多摩	2.00					
町田	5.25	0.25		0.33		
多摩立川	0.67		0.17			
多摩府中	1.44					
多摩小平	3.33	0.50			0.50	0.50
島しょ	2.00					
東京都	1.04	0.10	0.01	0.05	0.03	0.37

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年28週現在

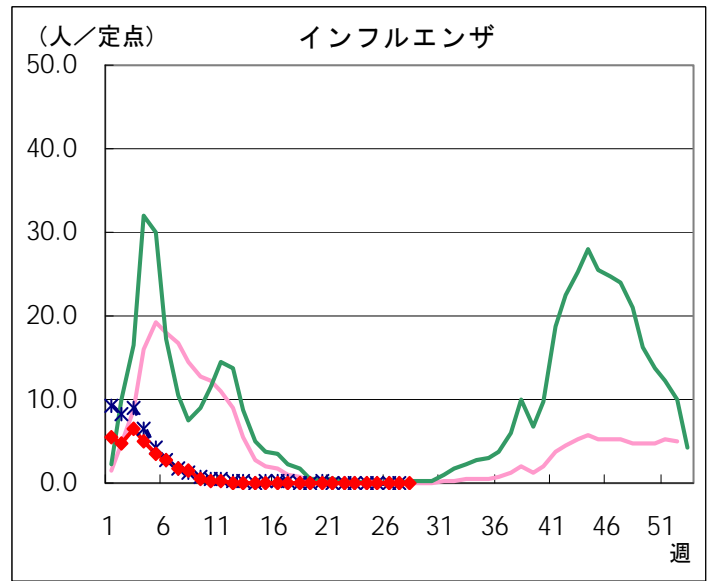
## ◆ 小児科定点



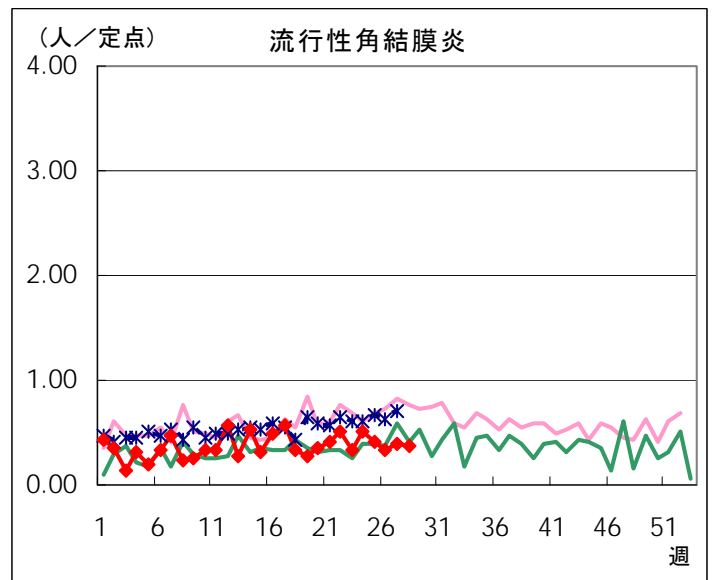
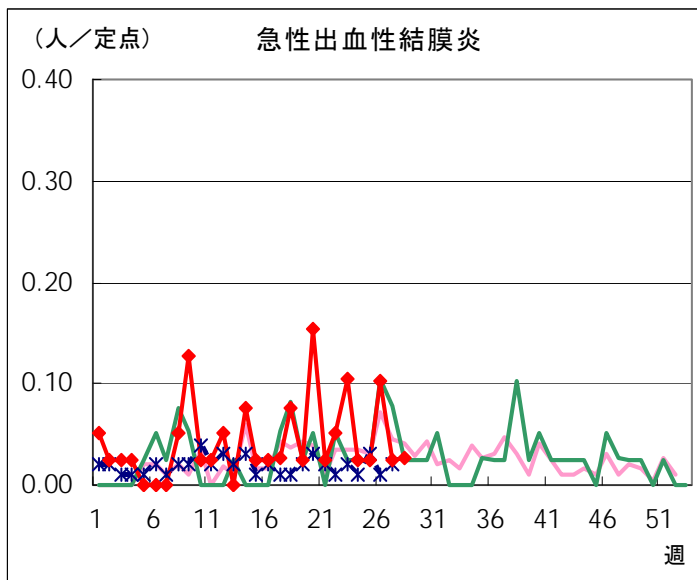




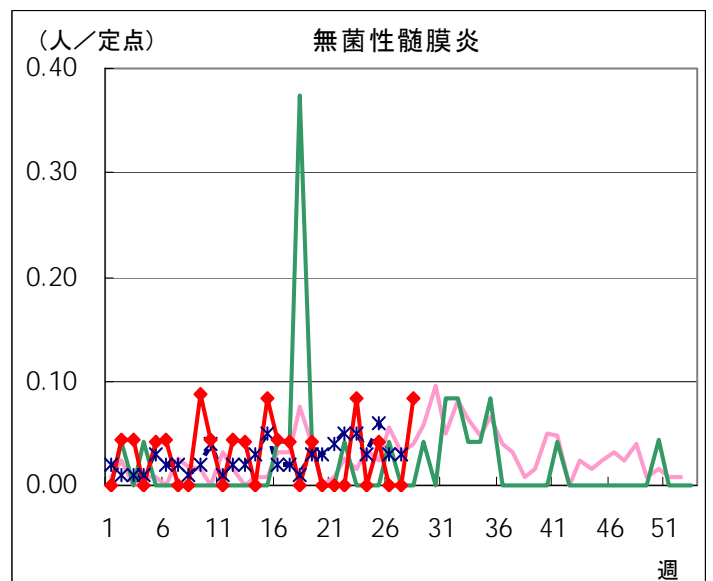
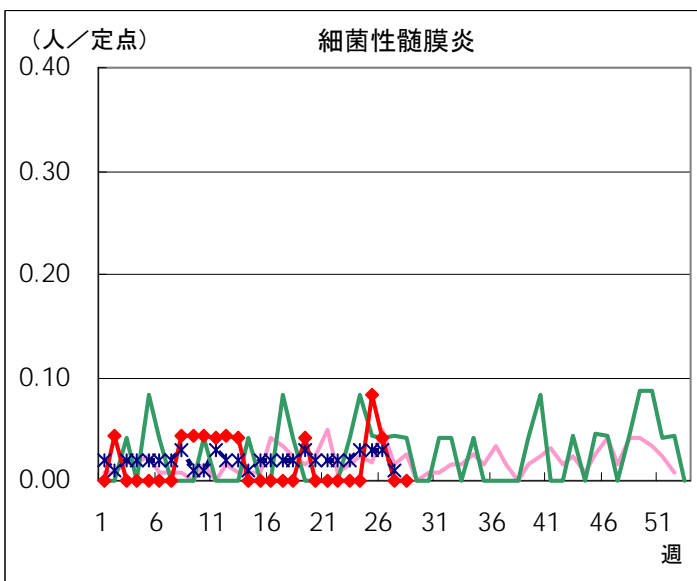
◆ インフルエンザ定点

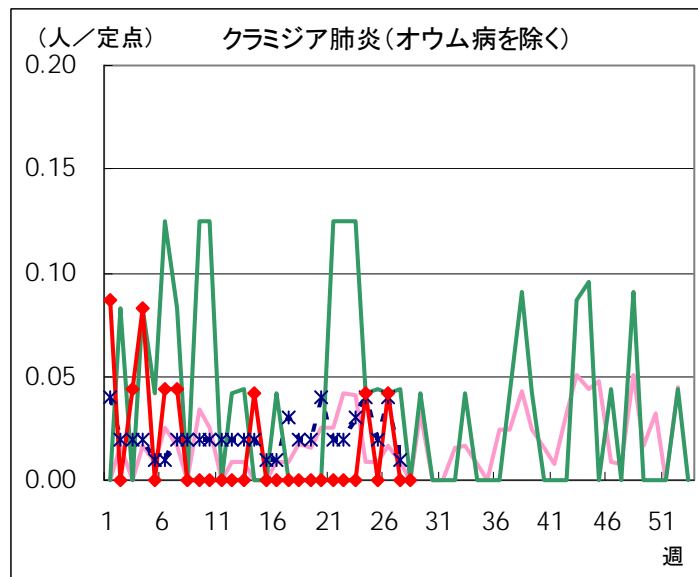
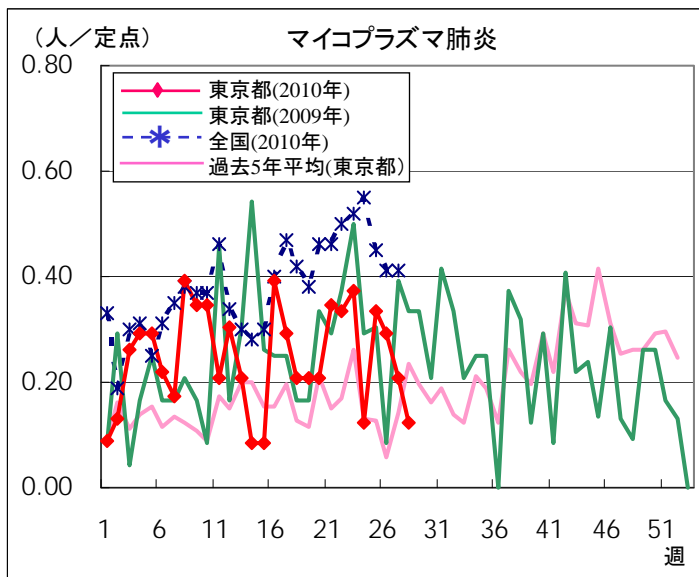


◆ 眼科定点

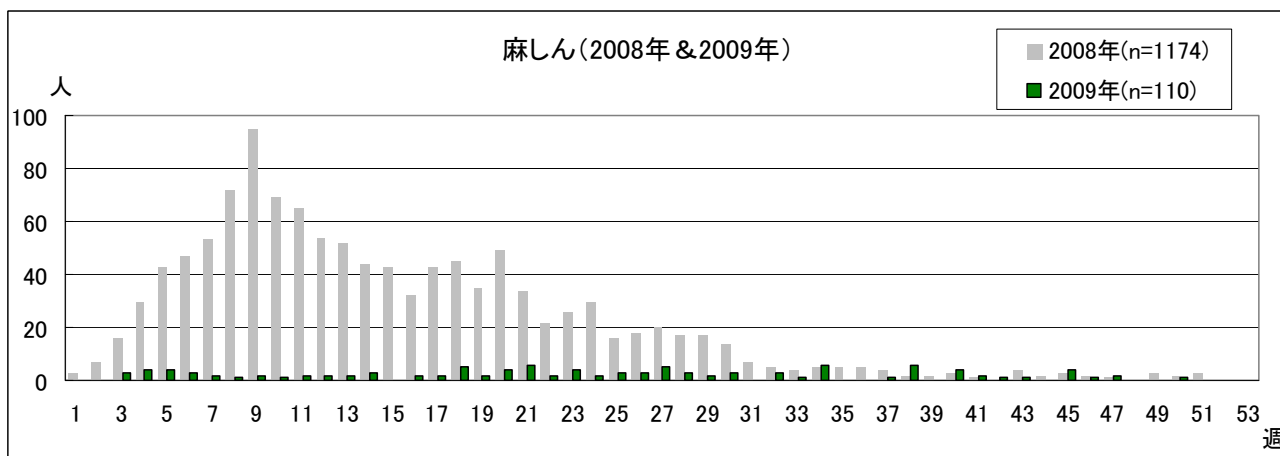
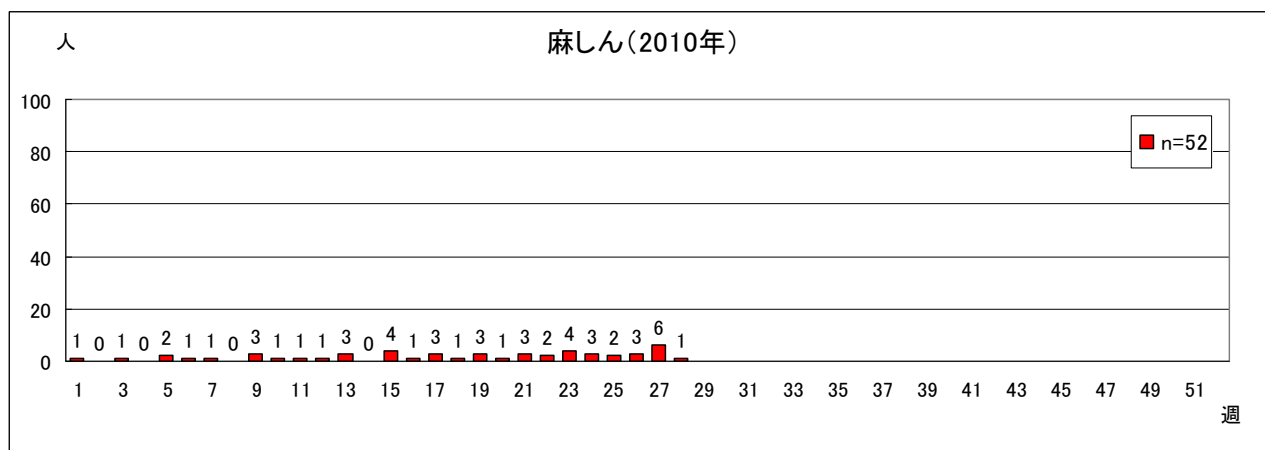


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年28週現在



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
6/2	急性咽頭炎	11	咽頭拭い液	<i>Streptococcus pyogenes</i> (T-1型) 感受性は①参照	同定 菌型 薬剤感受性
6/3	急性咽頭炎	11	咽頭拭い液	<i>Streptococcus pyogenes</i> 感受性は②参照	同定 薬剤感受性
6/13	急性咽頭炎	11	咽頭拭い液	<i>Streptococcus pyogenes</i> (T-1型) 感受性は③参照	同定 菌型 薬剤感受性
6/25	百日咳	7M	耳ろう	百日咳菌、肺炎球菌	遺伝子 分離同定
6/25	気管支肺炎	8	後鼻腔拭い液	肺炎球菌	分離同定
7/2	気管支炎	8M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	遺伝子
7/2	水痘	2	咽頭拭い液	水痘帯状疱疹ウイルス	
7/2	気管支炎	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/5	反復性耳下腺炎	記載なし	咽頭拭い液	EBウイルス	
7/5	ヘルパンギーナ	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/5	けいれん重積	1	鼻汁	ヒトヘルペスウイルス6型	
7/5	手足口病	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型・7型	
7/5	ヘルパンギーナ	3	咽頭拭い液	ライノウイルス、エンテロウイルス	
7/5	インフルエンザ	6	咽頭拭い液	ライノウイルス 新型インフルエンザウイルス	
7/5	不明発しん症	8M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
7/5	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/5	ヘルパンギーナ	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/6	手足口病・不明発しん	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型・7型	
7/6	咽頭炎	10M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	
7/7	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
7/7	不明発しん	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス、パルボウイルス	
7/7	ウイルス性皮膚湿しん	43	咽頭拭い液	パルボウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/8	腸炎	9M	糞便	エンテロウイルス、サポウイルス	遺伝子
7/8	急性咽頭炎	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/9	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/9	不明発しん	1M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
7/9	流行性耳下腺炎	9	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	

薬剤感受性検査結果 : *Streptococcus pyogenes*

参照番号	ABPC	CEX	CDTR	CFDN	TC	CP	EM	CAM	CLDM	LCM
	アンピシリン	セファレキシン	セフジトレン	セフジニル	テトラサイクリン	クロラムフェニコール	エリスロマイシン	クラリスロマイシン	クリンダマイシン	リンコマイシン
①	s	s	s	s	s	s	R	R	s	s
②	s	s	s	s	s	s	R	R	s	I
③	s	s	s	s	s	s	R	R	s	I

s:感性(感受性), I:中等度, R:耐性

◇積極的疫学調査による搬入検体

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
6/22	レジオネラ症	83	菌株(喀痰由来)	<i>Legionella pneumophila</i> (1群)	菌型
6/28	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	76	菌株(血液由来)	<i>Enterococcus faecium</i> (vanA遺伝子)	同定遺伝子

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)*
27週	0	0	0	1
今シーズン累計**	1	1	9	734

\* : 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)。

\*\* : 2009-2010シーズンの開始は第36週(8月31日~9月6日)。

## 病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
ウイルス	アデノウイルス	5	10	8	3	3	1	3	1
	ライノウイルス	5	7	5	8	4	2	2	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	4	8	6	3	8	10	9	10
	単純ヘルペスウイルス								
	水痘・帯状疱疹ウイルス								1
	ヘルペスウイルス6/7	3	1	1	3	2		4	8
	EBウイルス	1	1	1	2	4	4	2	1
	サイトメガロウイルス		1		2	1		1	
	ムンプスウイルス	1	2	4			1		1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19				1		2	3	2
	RSウイルス	1		1			1		
	ノロウイルス								
	ロタウイルス			1					
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
新型インフルエンザウイルスAH1pdm		1	1				1	1	
デングウイルス(抗体を含む)		1		1					
その他のウイルス	7	6	3	4	8	10	6	3	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌							1	
	溶血性レンサ球菌		9			4			3
	その他の細菌		3	3	5			1	3
その他の病原体						1		1	



病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年20週～2010年27週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	20	49	93	28	19	4	1	10	4	9	10	24	20	1	5		150	
ウイルス	アデノウイルス		7	6	3	2		3		2	1		4				6	
	ライノウイルス	1	6	11	2	1			1		3				1		9	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		9	10	10			1	4	5		5	1					13
	単純ヘルペスウイルス																	
	水痘・帯状疱疹しんウイルス													1				
	ヘルペスウイルス6/7						2			5		7						8
	EBウイルス		1	2							1	2	4					6
	サイトメガロウイルス											1	2					2
	ムンプスウイルス												9					
	麻疹しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											4	2					2
	RSウイルス			3														
	ノロウイルス																	
	ロタウイルス				1													
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	4																	
デングウイルス(抗体を含む)																	2	
その他のウイルス		5	30	4		1									1		6	
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																1	
	溶血性レンサ球菌		13					1										2
その他の細菌		1	12														2	
その他の病原体			2															

## 月報告 定点把握対象疾患 報告数 2010年6月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	106	2.04	52	55
		女	80	1.54		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	64	1.23		
		女	38	0.73		
	尖圭コンジローマ	男	48	0.92		
		女	16	0.31		
	淋菌感染症	男	60	1.15		
		女	9	0.17		
	膺トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	10	0.19		
梅毒様疾患	男	9	0.17			
	女	0	0.00			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	89	3.71	24	24
		女	51	2.13		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	42	1.75		
		女	16	0.67		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	0	0.00		

2010/7/14

\* 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

## 月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2010年6月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	4			2		
20～24歳	18	4	6	10		2
25～29歳	21	10	4	14		2
30～34歳	20	10	12	9		2
35～39歳	12	8	11	11		2
40～44歳	15	9	5	2		1
45～49歳	7	10	6	5		
50～54歳	4	1	1			
55～59歳	3	7	1	2		
60～64歳	2	2	1	3		
65～69歳		2	1			
70歳～		1		2		
合計	106	64	48	60		9
先月数	111	59	63	90		7
増減数	-5	5	-15	-30		2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	13					
20～24歳	23	6	5	5	3	
25～29歳	18	8	3	2	1	
30～34歳	18	10	7		1	
35～39歳	5	2	1	1	1	
40～44歳	2	3			1	
45～49歳		3		1	1	
50～54歳	1				1	
55～59歳		3				
60～64歳		1				
65～69歳		1				
70歳～		1			1	
合計	80	38	16	9	10	
先月数	98	29	15	15	11	
増減数	-18	9	1	-6	-1	

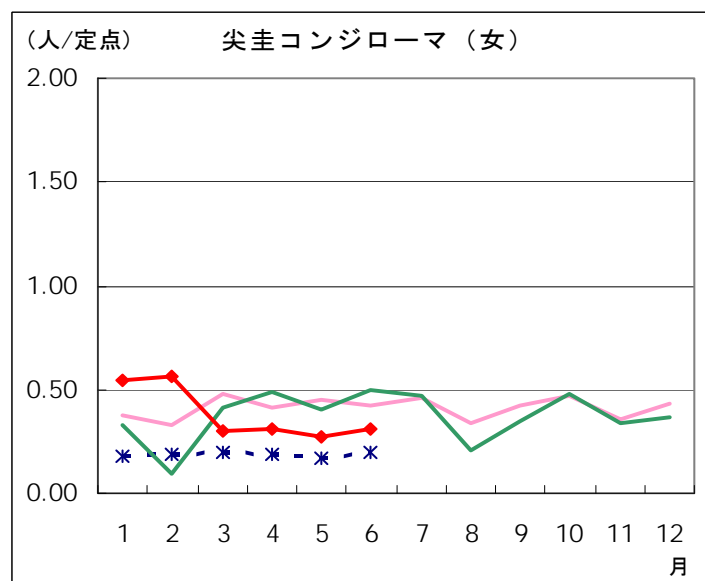
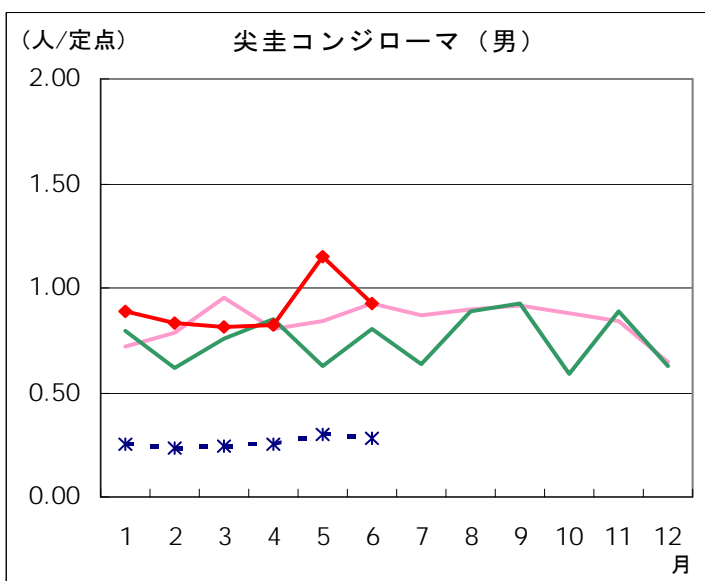
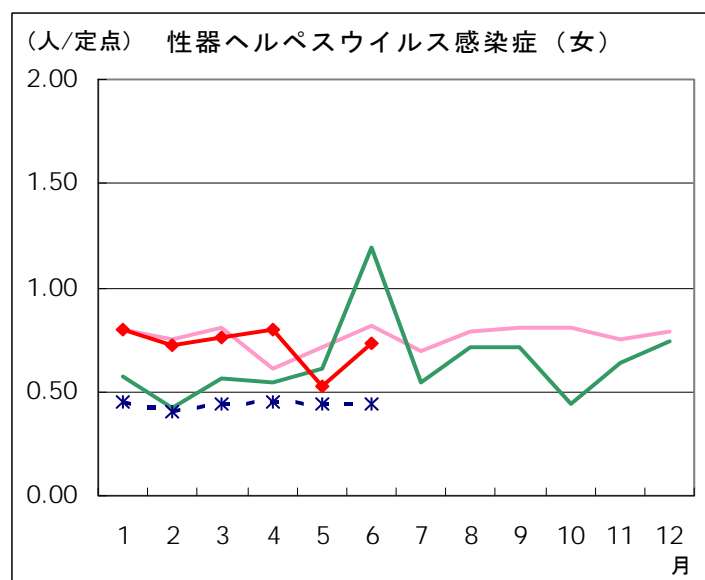
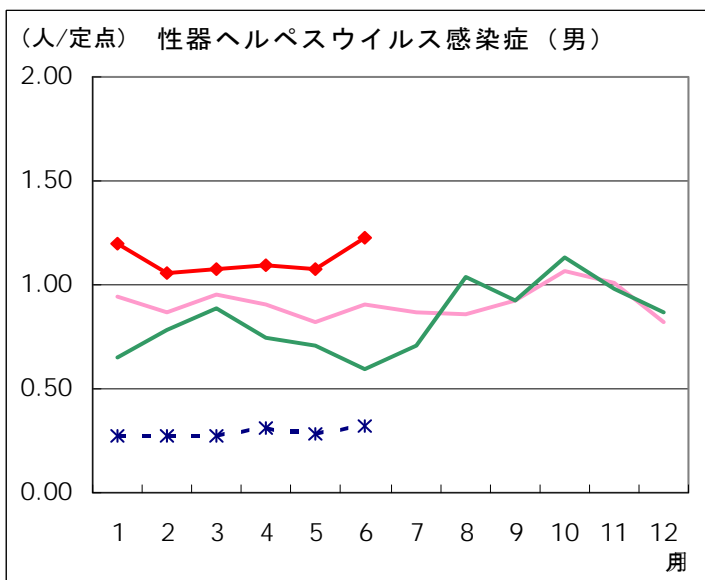
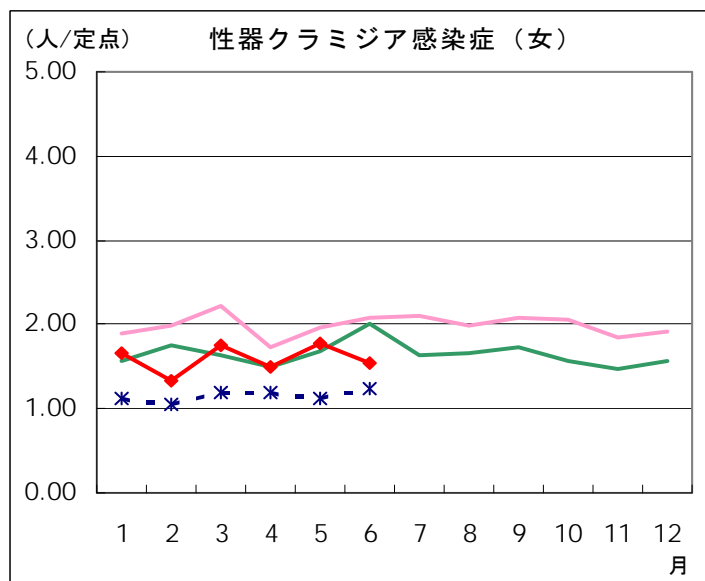
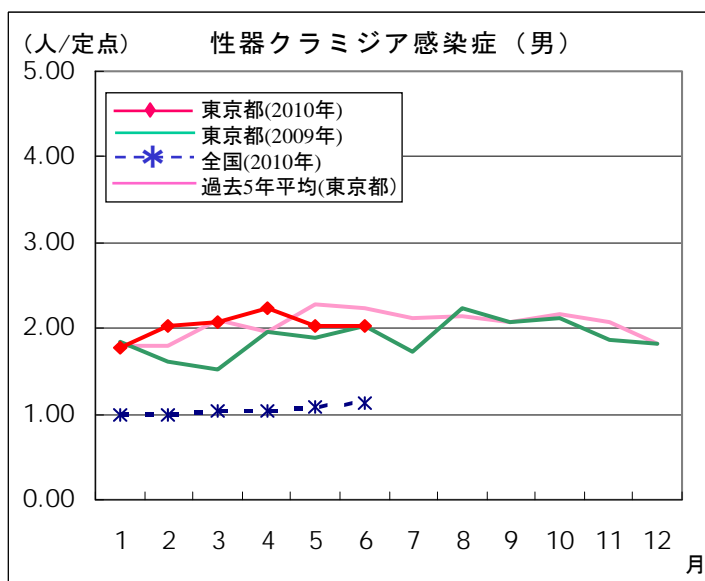
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2010年6月

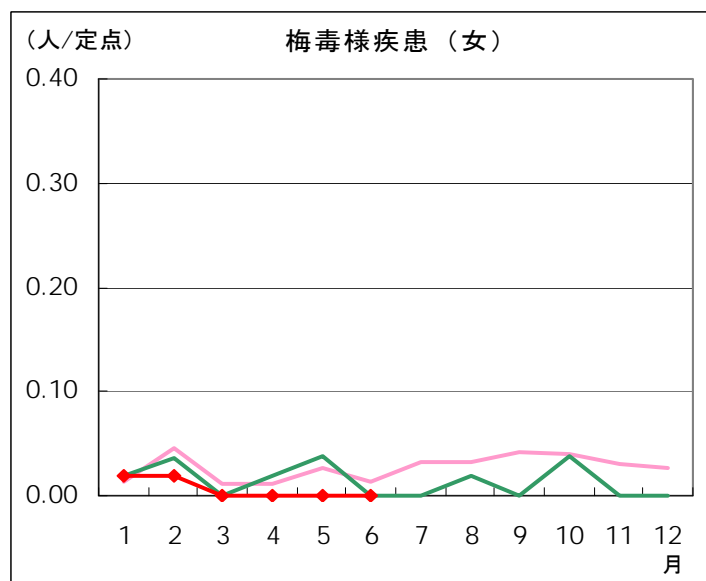
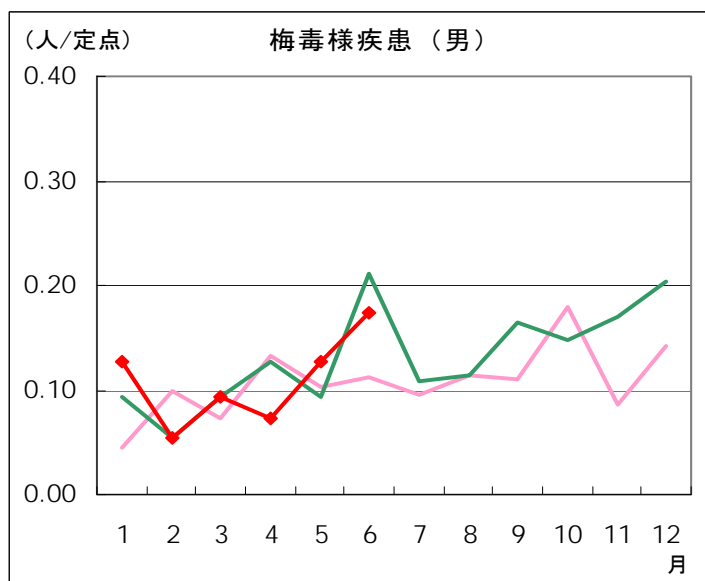
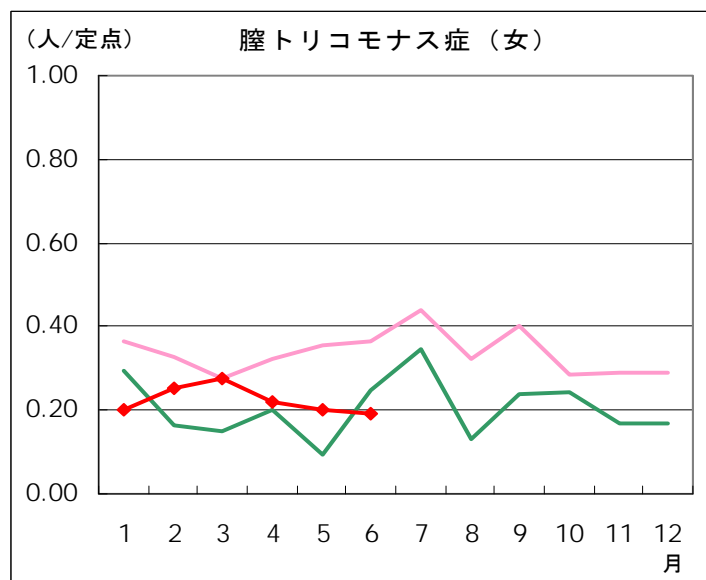
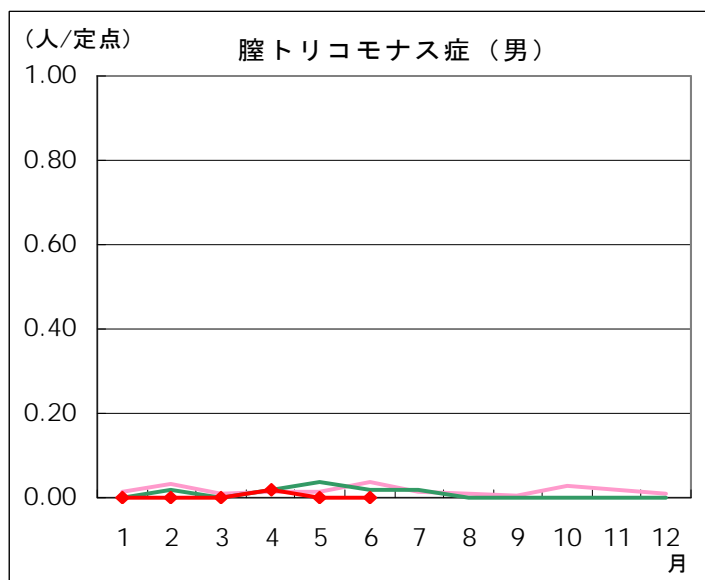
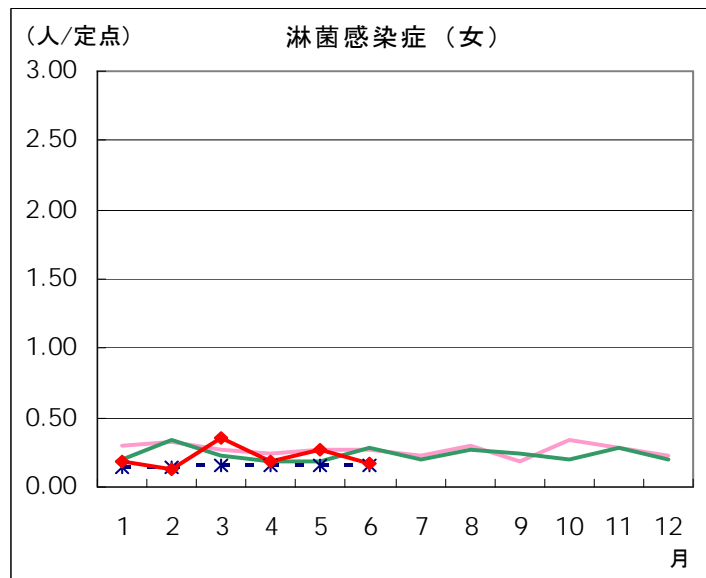
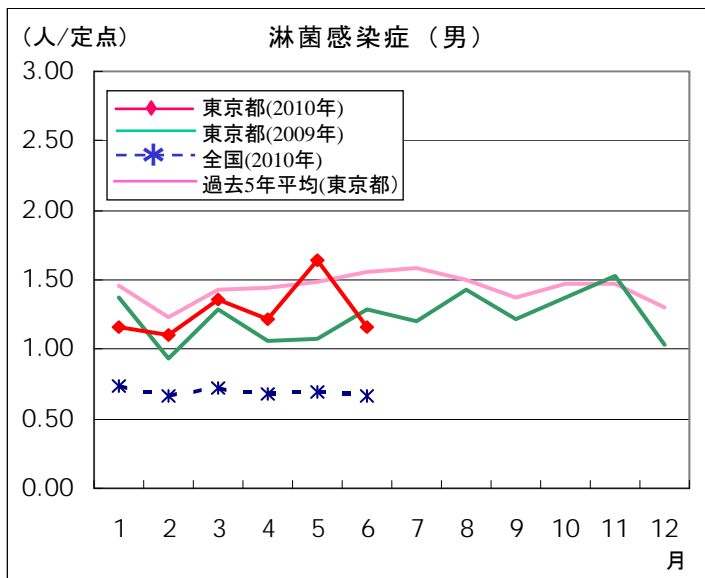
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	8	9	2	8		
中央区	3	10	1		5		
みなの	2	10	24	9	7		
新宿区	7	26	19	25	2		9
文京	1	5	2	2	5		
台東	2						
墨田区	2	3	1		4		
江東区	2	10	2	1	6		
品川区	1	1		1			
大田区	2	2			3		
渋谷区	3	6	2				
中野区	2	4			8		
杉並	2	3					
池袋	3	11	4	4	5		
北区	1	1		3			
荒川区	1						
板橋区	2	2		1	5		
足立	2				1		
江戸川	2	2			1		
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	1						
多摩府中	3	2					
多摩小平	1						
合 計	52	106	64	48	60		9
定点当たり		2.04	1.23	0.92	1.15		0.17

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	1					
中央区	3	1				1	
みなの	2	4	8				
新宿区	7	8	6	5	3		
文京	1						
台東	2	1	6				
墨田区	2	1	1	1			
江東区	2	1	1	1	1		
品川区	1						
大田区	2	4					
渋谷区	3	3	6	4			
中野区	2	1		1		1	
杉並	2	2			1		
池袋	3	9	7	1	2	3	
北区	1						
荒川区	1	3					2
板橋区	2	11			2		
足立	2		1				
江戸川	2	7				1	
八王子市	4	8	1	1			
町田	1	4				2	
多摩立川	1	10					
多摩府中	3			2			
多摩小平	1	1	1				
合 計	52	80	38	16	9	10	
定点当たり		1.54	0.73	0.31	0.17	0.19	

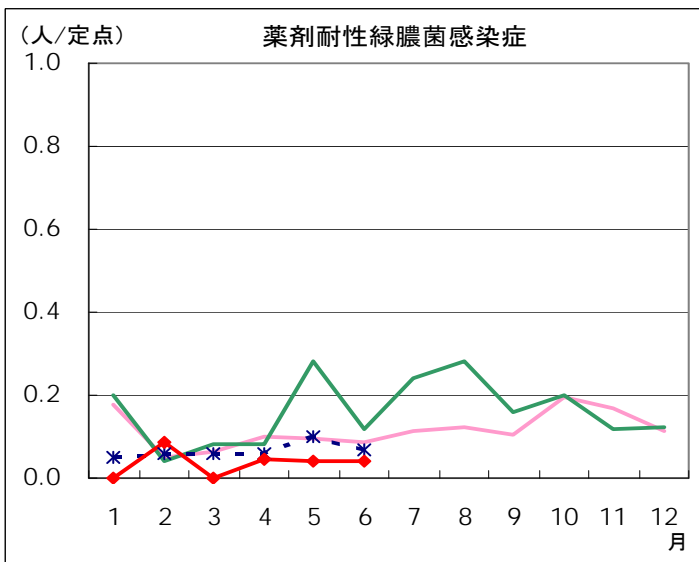
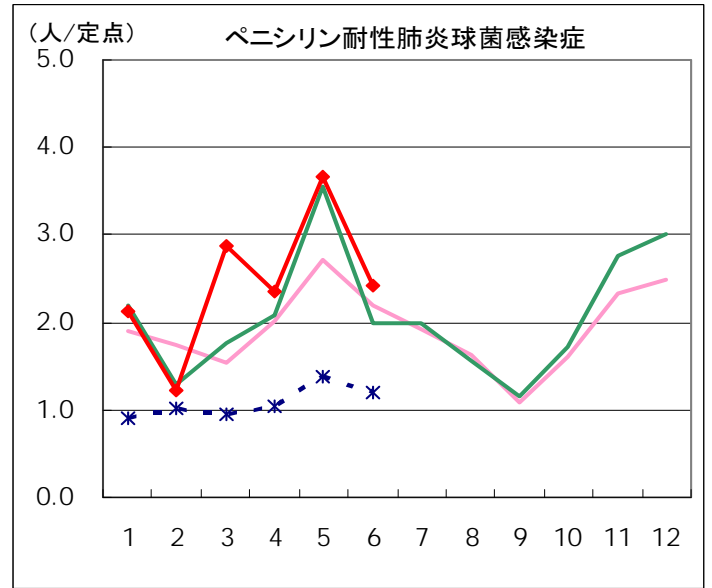
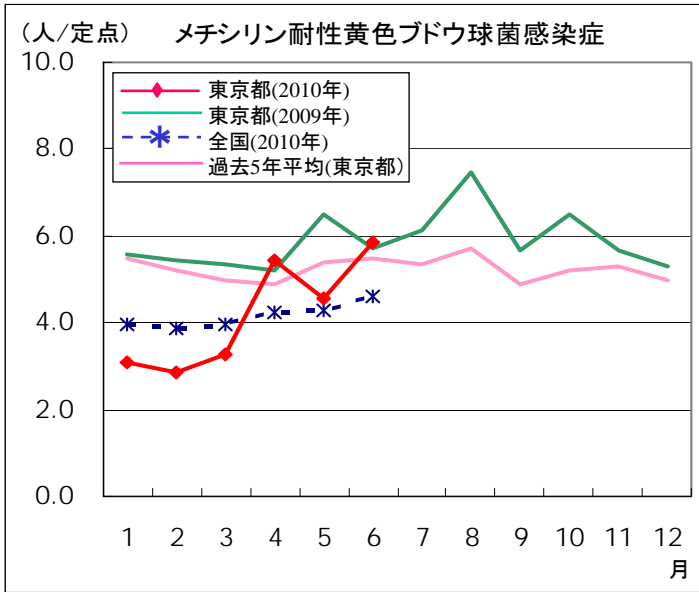
# 月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2010年6月現在

## ◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



## 月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
6/3	尿道炎	46	男	尿	<i>Candida albicans</i>	分離同定
6/7	単純ヘルペス疑い	70	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子
6/14	尿道炎	42	男	尿	クラミジア	遺伝子
6/14	淋菌性尿道炎	58	男	陰部尿道頸部擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
6/14	尿道炎	36	男	尿	クラミジア	遺伝子
6/16	尖圭コンジローマ	49	男	コンジローマ部位擦過物	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
6/22	淋菌性尿道炎	36	男	陰部尿道頸部擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
6/25	尿道炎	19	男	尿	クラミジア	遺伝子
6/25	尿道炎	59	男	尿	クラミジア	遺伝子
6/29	淋菌性尿道炎	41	男	尿	淋菌	遺伝子